



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告 XVII 1984~1985 (昭和59~60) 年冬
Author(s)	藤岡, 敏夫; HUZIOKA, Tosio; 清水, 弘 他
Citation	低温科学. 物理篇. 資料集, 44, 9-19
Issue Date	1986-03-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/18744
Type	departmental bulletin paper
File Information	44_p9-19.pdf



Tosio HUZIOKA, Hiromu SHIMIZU, Eizi AKITAYA, Hideki NARITA, Mitsuo OH-IZUMI and Yasuo HIRABAYASHI 1985 Snow Cover Observations at Avalanche Research Station, Toikanbetsu, Northern Hokkaido, XVII. (1984-1985 winter). *Low Temperature Science, Ser. A, 44, Data Report.*

雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告 XVII*

—1984～1985 (昭和 59～60) 年冬—

藤岡 敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田 英器

(低温科学研究所)

大泉三津夫・平林 康男

(北海道大学大学院理学研究科)

(昭和 61 年 1 月受理)

I. ま え が き

この報告は、北海道大学天塩地方演習林におかれている雪崩観測実験室、通称雪崩観測所の実験斜面において、1984～85 年(昭和 59～60 年)冬におこなわれた雪質調査の報告である。昨年冬の調査結果はすでに報告^{1)・16)}されている。

II. 調査場所, 調査項目

調査を行った場所は、前回と同じ北斜面の D 地点である。

調査項目は、積雪深、成層構造、雪温の高さの分布、各層の雪の種類、密度、硬度、雪粒の大きさである。これらの結果を表及び図に示した。

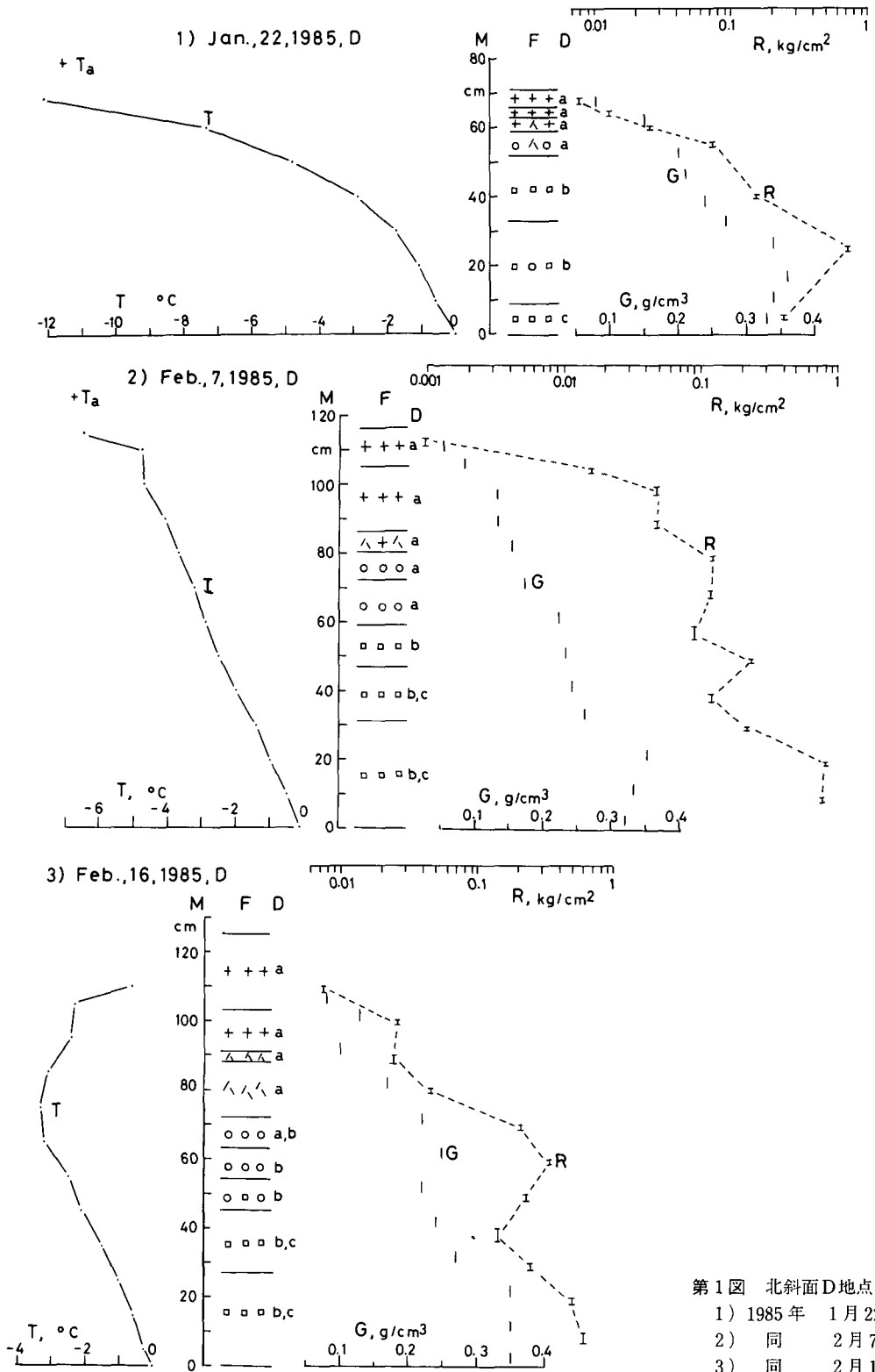
観測所のおかれている尾根での気温の日最高、日平均、最低も図に示した。何れも毎時の観測値から求めた値である。風向、風速は何れも 10 分間の平均値で、風速は毎時の値、風向は 0 時から 6 時間毎のものを線の方向で示してある。

第1表 1984-85年(昭和59-60年)冬、北斜面D地点

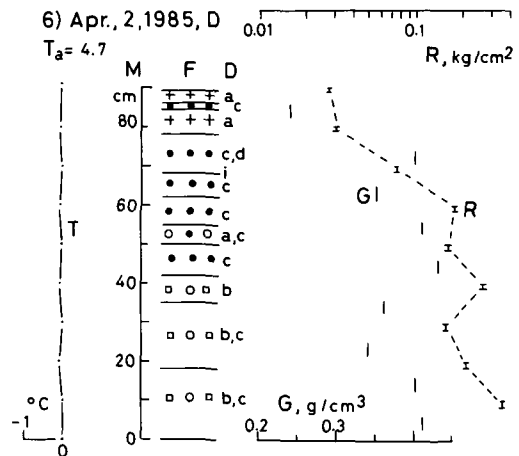
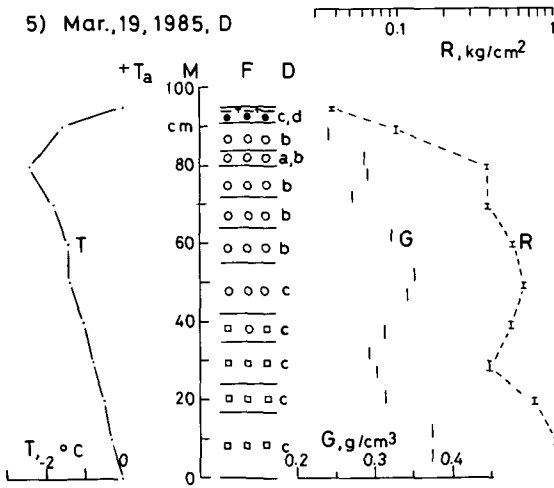
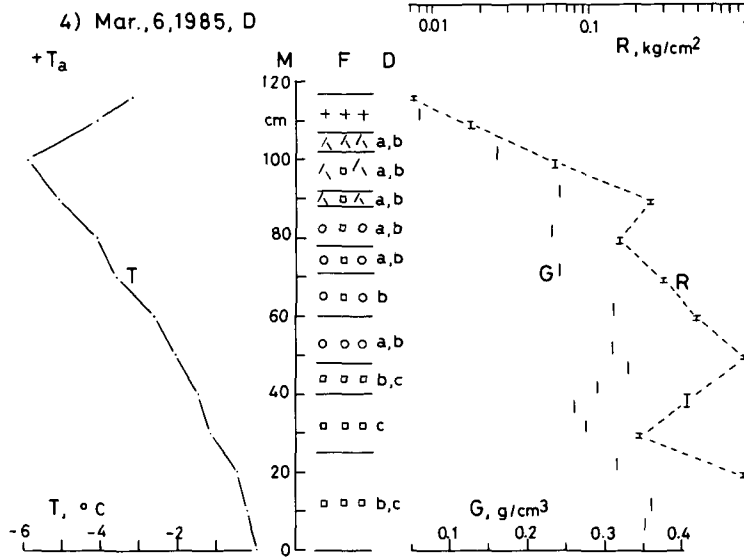
月 日 積 雪 深	高さ, M cm	密度, G g/cm ³	硬度, R g/cm ²	温度, T ℃	月 日 積 雪 深	高さ, M cm	密度, G g/cm ³	硬度, R g/cm ²	温度, T ℃
1月22日 71cm (M)	69			-12.1	2月7日 (つづき)	32	0.26		
	68		8.00			30		226	-1.4
	66	0.08				20	0.35	855	-1.0
	64		13.2			10	0.33	815	-0.5
	60	0.15	25.6	-7.3		1	0.32		-0.1
	55		24.5		2月16日 112cm (M)	112			-0.6
	51	0.20				110		7.49	
	50			-4.8		105	0.08		-2.3
	45	0.21				100	0.13	25.6	
	40		154	-2.9		95			-2.4
	37	0.24				90	0.10	24.3	
	31	0.27				85			-3.1
	30			-1.8		80	0.17	45.7	
	25	0.34	713			75			-3.3
	20			-1.1		70	0.22	210	
	15	0.36				65			-3.2
	10			-0.6		60	0.25	332	
	9	0.34				55			-2.5
	5		244			50	0.22	226	
	3	0.33				45			-2.1
0			0.0	40	0.24	142			
2月7日 115cm (M)	115			-6.5	35			-1.5	
	113		1.79		30	0.27	244		
	110	0.05		-4.8	25			-1.0	
	105	0.08	16.4		20	0.35	499		
	100		29.0	-4.7	15			-0.6	
	96	0.13			10	0.35	596		
	90		49.8	-4.1	5			-0.3	
	88	0.13			0	0.35		0.0	
	81	0.15			3月6日 117cm (M)	116		7.37	-3.2
	80		125	-3.7		110	0.16	17.1	-4.1
	70	0.17	122	-3.2		100	0.16	59.9	-5.9
	60	0.22		-2.9		90	0.24	244	-5.1
	59		92.8			80	0.23	154	-4.1
	50	0.23	244	-2.5		70	0.24	295	-3.6
	40	0.24	125	-2.0		60	0.31	491	-2.6

第2表 1984-85年(昭和59-60年)冬, 北斜面D地点

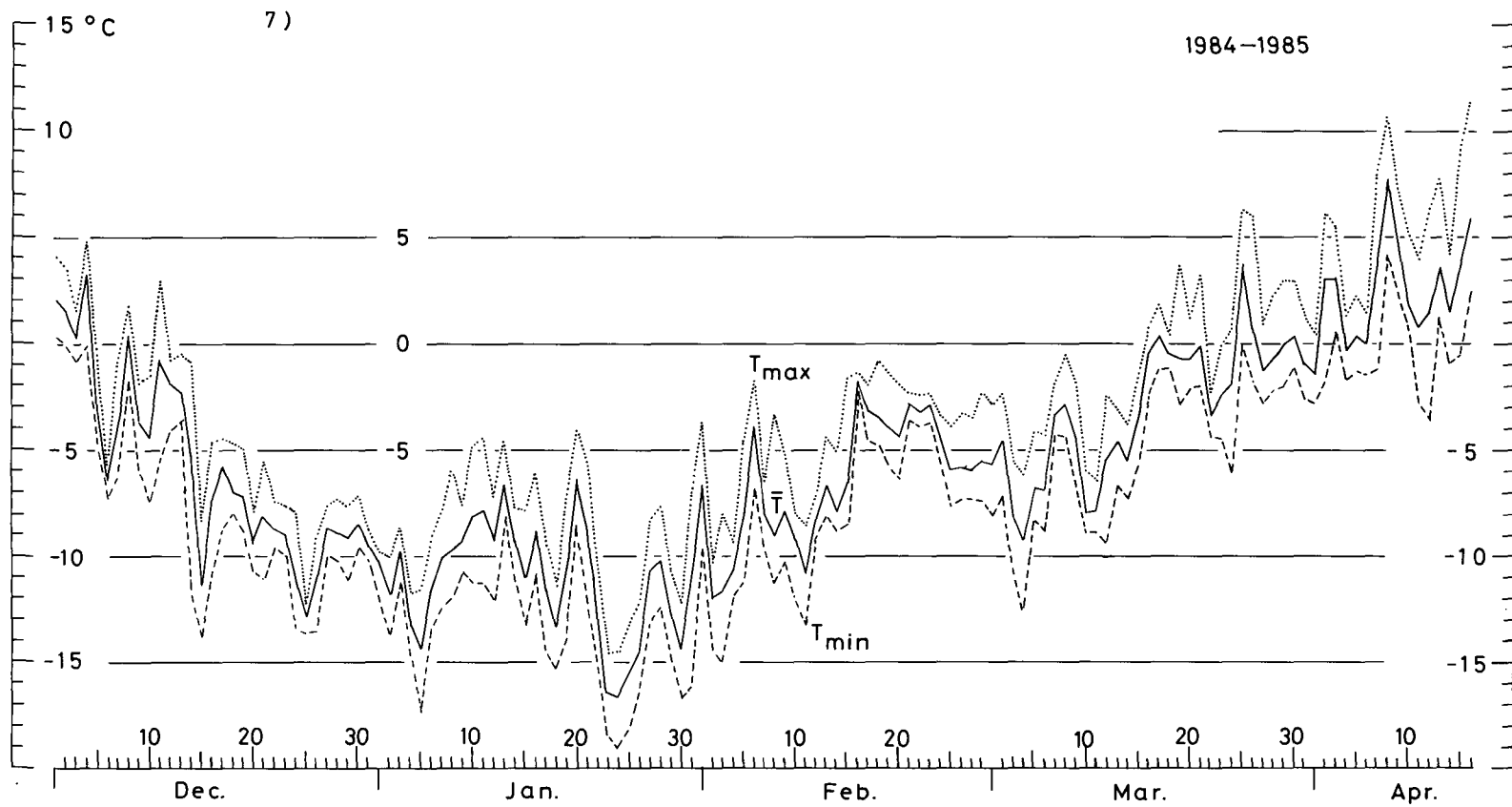
月 日 積雪深	高さ, <i>M</i> cm	密度, <i>G</i> g/cm ³	硬度, <i>R</i> g/cm ²	温度, <i>T</i> ℃	月 日 積雪深	高さ, <i>M</i> cm	密度, <i>G</i> g/cm ³	硬度, <i>R</i> g/cm ²	温度, <i>T</i> ℃
3月6日 (つづき)	50	0.31	984	-2.1	4月2日 (つづき)	50		160	0.0
	45	0.33				43	0.43		
	40	0.29	422	-1.5		40		267	-0.1
	35	0.26				33	0.36		
	30	0.275	210	-1.2		30		154	0.0
	20	0.315	984	-0.5		22	0.34		
	10	0.360	1231	-0.3		20		210	-0.1
	5	0.350				13	0.40		
	0			0.0		10		354	0.0
3月19日 95cm (<i>M</i>)	95		39.0	0.0	3	0.41			
	90		100	-1.6	0				-0.1
	86	0.24							
	80	0.285	380	-2.4					
	76	0.29							
	70	0.27	380	-1.8					
	60	0.32	550	-1.4					
	50	0.35	645	-1.2					
	45	0.34							
	40		532	-1.0					
	36	0.31							
	30	0.29	387	-0.8					
	25	0.30							
	20		758	-0.5					
	19	0.31							
10	0.37	1033	-0.3						
4	0.37								
0			0.0						
4月2日 91cm (<i>M</i>)	91			0.0					
	90		27.7						
	83	0.24							
	80		30.6	-0.1					
	71	0.40							
	70		74.5	0.0					
	62	0.35							
	60		176	-0.1					
53	0.41								



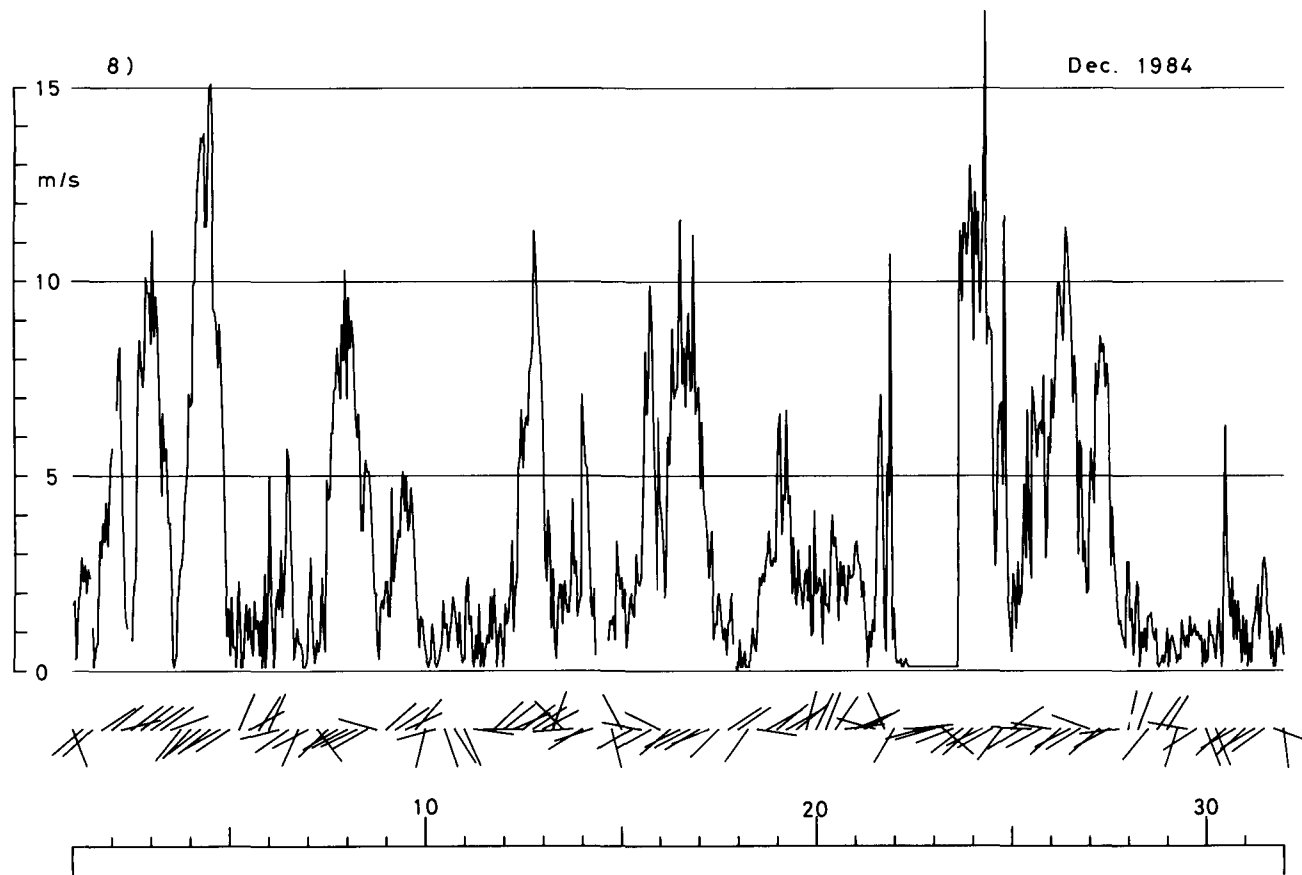
第1図 北斜面D地点
 1) 1985年 1月22日
 2) 同 2月7日
 3) 同 2月16日



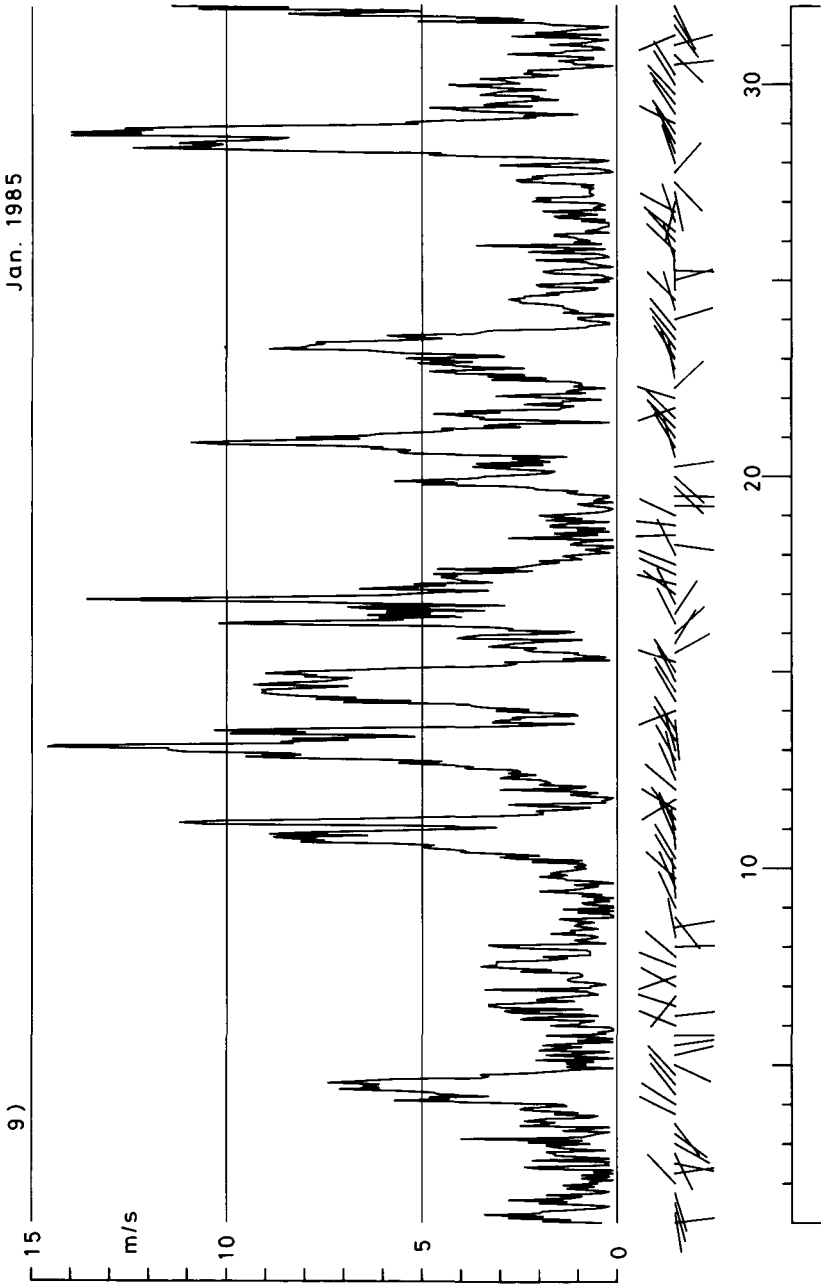
第2図 北斜面D地点
 4) 1985年3月6日
 5) 同 3月19日
 6) 同 4月2日



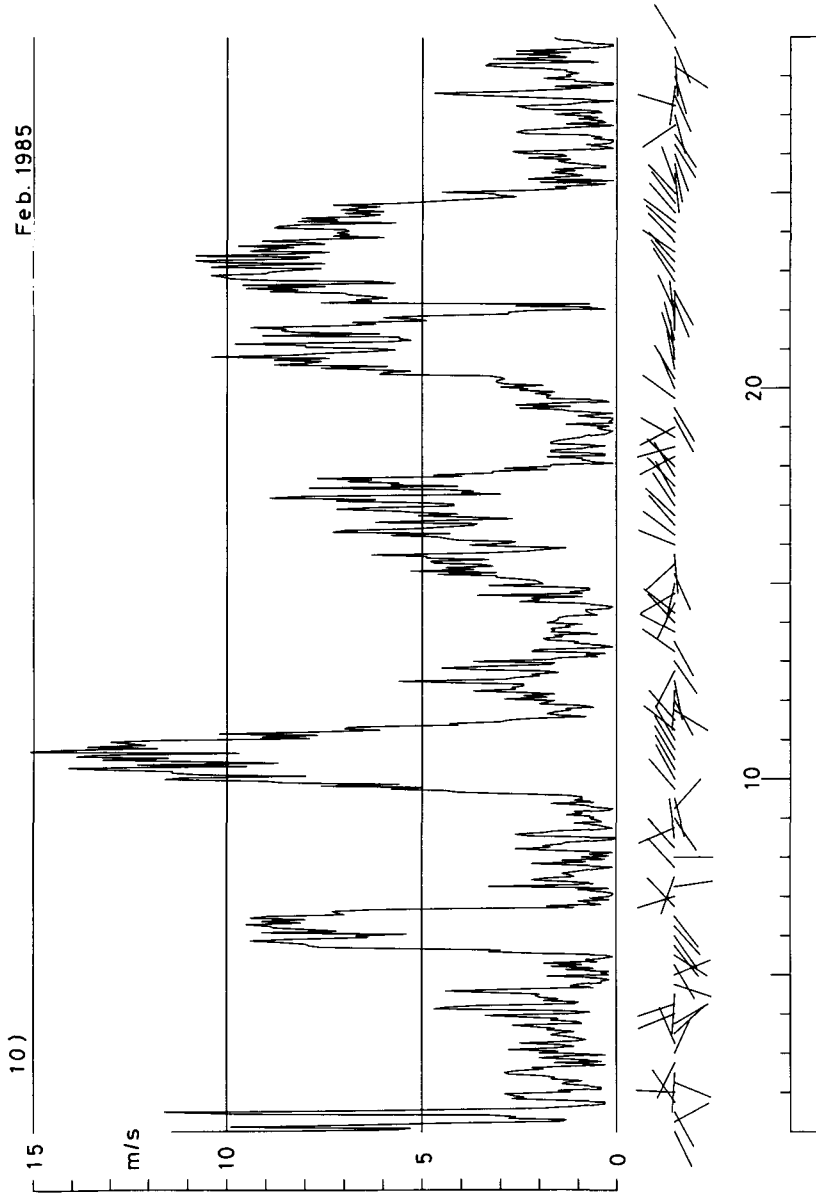
第3図 雪崩観測所における気温。1984年12月1日から1985年4月16日まで。
点線は日最高気温、実線は日平均（毎時平均）気温、破線は日最低気温



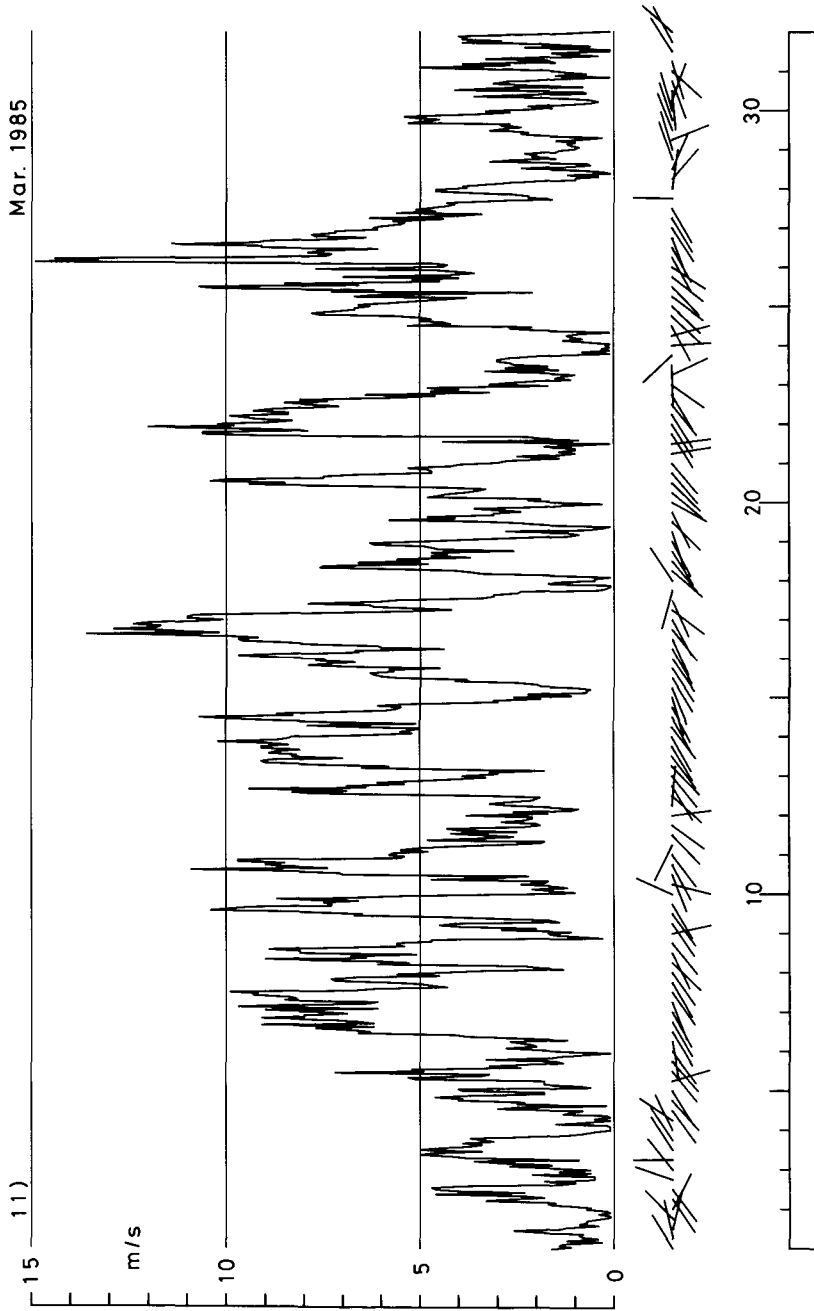
第4図 12月の風向，風速．1984年12月1日より1月1日0時迄，風向は0時から6時間毎の10分間平均風向，風速は毎時の10分間平均風速



第5図 1月の風向, 風速



第6図 2月の風向、風速



第7図 3月の風向, 風速

文 献

- 1) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器 1966 北大天塩地方演習林山地積雪の雪質調査報告I. 低温科学, 物理篇, 24, 177-200.
- 2) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器 1968 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告II. 低温科学, 物理篇, 26, 187-214.
- 3) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器 1969 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告III. 低温科学, 物理篇, 27, 資料集, 15-22.
- 4) 藤岡敏夫・秋田谷英次・成田英器 1970 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告IV. 低温科学, 物理篇, 28, 資料集, 34-42.
- 5) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器・川田邦夫 1971 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告V. 低温科学, 物理篇, 29, 資料集, 21-27.
- 6) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・川田邦夫 1972 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告VI. 低温科学, 物理篇, 30, 資料集, 29-36.
- 7) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次 1973 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告VII. 低温科学, 物理篇, 31, 資料集, 1-5.
- 8) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器・岡野 正・和泉 薫 1974 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告VIII. 低温科学, 物理篇, 32, 資料集, 31-39.
- 9) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器・岡野 正・和泉 薫 1975 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告IX. 低温科学, 物理篇, 33, 資料集, 17-33.
- 10) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器・岡野 正 1976 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告X. 低温科学, 物理篇, 34, 資料集, 21-26.
- 11) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器・岡野 正 1977 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告XI. 低温科学, 物理篇, 35, 資料集, 27-33.
- 12) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器 1979 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告XII. 低温科学, 物理篇, 38, 資料集, 17-32.
- 13) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器 1981 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告XIII. 低温科学, 物理篇, 40, 資料集, 27-45.
- 14) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器・大泉三津夫 1982 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告XIV. 低温科学, 物理篇, 41, 資料集, 27-37.
- 15) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・成田英器・大泉三津夫 1983 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告XV. 低温科学, 物理篇, 42, 資料集, 9-23.
- 16) 藤岡敏夫・清水 弘・秋田谷英次・大泉三津夫・平林康男 1984 雪崩観測実験室実験斜面の雪質調査報告XVI. 低温科学, 物理篇, 43, 資料集, 11-24.